

Email : ( kami@sss.fukushima-u.ac.jp ) , URL:



神長裕明

Kaminaga Hiroaki  
学位 (博士 (工学) 東北大学)

1889.4 東北大学 助手  
1991.2 山形大学 助手  
1991.10 山形大学 講師  
1995.10 福島大学 助教授  
2004.10 福島大学 教授

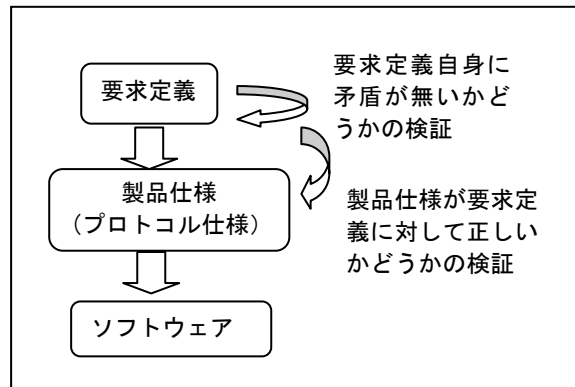
学会活動 (所属学会)  
電子情報通信学会, 情報処理学会, 日本知能情報ファジィ学会 (平成17年4月～東北支部長), 日本ソフトウェア科学会, 人工知能学会, IEEE, ACM

社会活動  
マルチメディア・コンテンツ研究会 (代表)

主な担当科目  
計算機工学,  
ソフトウェア工学,  
プログラミング演習II

主な研究分野 (ソフトウェアの仕様化と検証法に関する研究, ファジィ理論の応用に関する研究)

「ソフトウェアの仕様化と検証法に関する研究の概要」



ソフトウェアを効率よく誤り無く製造するためには, 要求定義や製品仕様を正確に行い, それに基づいてソフトウェア製品を作成する必要があります。

CCSやCSPなどのいわゆるプロセス代数は, 特に同期型通信システムのモデルとして有効であることが認識されているが, LOTOS以外実用面にはまだほとんど応用されていない。本研究の目的は, プロセス代数の理論を特に等価性に基づいて, 広域高速ネットワーク型通信システム等の設計及び検証などに適用し, その応用面での可能性を探ることである。具体的には, 以下の研究計画に従って諸研究を進める。

- (1) プロセス代数に基づく通信及び分散システムのモデル化
- (2) (1)に基づいた仕様化技法や検証法の開発
- (3) コンピュータ上でのインプリメントと評価

相談に応じられる分野・テーマ

- ① ソフトウェアの設計・検証理論
- ② ファジィ理論の応用
- ③ 情報教育

キーワード:

ソフトウェア工学, 仕様化, 検証, ファジィ, 情報教育

代表的な業績 (論文, 著書, 特許等)

- ・ 「LOTOS 仕様の効率的な等価性判定法」, 電子情報通信学会論文誌 Vol. J73-D-I No. 2(1990. 2)
- ・ 「A Framework for Qualitative Modeling from Linguistic Data and Its Application to the Mulder's Theory of Power」 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Systems, Vol. 8 No. 2 (1996. 4)
- ・ 「ソフトウェア工学の基礎知識」, 昭晃堂 (1997. 4)
- ・ 「基礎情報リテラシー」, アイ・ケイコーポレーション (2003. 4)

主な研究分野

ソフトウェア工学, ファジィ工学

TEL: ( 024-548-8195 )

FAX: ( 024-548-8195 )